

景気見通し調査(平成29年6月期)

調査結果

福井商工会議所
中小企業総合支援センター

【調査の概要】

当調査は、福井商工会議所管内の小規模事業所の短期的な景気動向を把握するため、毎年3月・6月・9月・12月の年4回実施している。

調査時期 平成29年6月8日(木)～6月15日(木)

調査方法 FAXによる送付、回収

調査対象 福井商工会議所 会員小規模事業所より 364件を抽出

(製造業・建設業・・・従業員20人以下の事業所

卸売業・小売業、商業・サービス業・その他・・・従業員5人以下の事業所)

回答数 196件 (回収率53.8%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
5名以内	16	13	17	6	17	69(38.5%)
6～10名以内	11	15	4	5	6	41(23.0%)
11名以上	22	15	9	6	17	69(38.5%)
計	49(27.4%)	43(24.0%)	30(16.8%)	17(9.5%)	40(22.3%)	179

※業種未回答17件除く

DI値とは

ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「良い」「上昇」したとする企業割合から、「悪い」「下落」したとする企業割合を差し引いた値。「現在」DI値は3か月前を基準とした現在の状況、「先行」DI値は今後3か月後の状況を予測したもの。

【調査結果の概要】

総じて改善傾向

～製造業は悪化した側面も見られる～

■業界の景況

- ・2期ぶりの改善
- ・全業種の改善
- ・卸売業、サービス業は悪化の見込み

■仕入価格

- ・2期連続の改善
- ・製造業、建設業のみ悪化
- ・製造業、小売業のみ改善の見込み

■自社の景況

- ・2期ぶりの改善
- ・製造業のみ悪化
- ・卸売、サービス業は悪化の見込み

■販売価格

- ・2期ぶりの改善
- ・サービス業は悪化
- ・小売業、サービス業以外は改善の見込み

■売上高(受注高)

- ・2期ぶりの改善
- ・小売業のみ悪化
- ・製造業、小売業は改善の見込み

■採算(収支)

- ・2期ぶりの改善
- ・製造業は悪化
- ・建設業、サービス業は悪化の見込み

■業界別の動向

業種	コメント	前回調査との比較					
		業界の景況	自社の景況	売上高 (受注高)	仕入価格 (商品、資材、 原材料等)	販売価格 (受注単価)	採算(収支)
全業種		↑	↑	↑	↑	↑	↑
製造業	+ 顧客の増加	↑	↓	↑	↓	↑	↓
	+ 同業者の廃業で固定客増	↑	↓	↑	↓	↑	↓
	- 受注が少ない	↑	↓	↑	↓	↑	↓
建設業	- 取引先の廃業	↑	↓	↑	↓	↑	↓
	+ 受注が好調	↑	↑	↑	↓	↑	↑
	+ 新幹線関連の仕事が増える	↑	↑	↑	↓	↑	↑
卸売業	- 営業不足	↑	↑	↑	↑	↑	↑
	- 受注が少ない	↑	↑	↑	↑	↑	↑
	- 通販、ネットの介入による顧客減	↑	↑	↑	↑	↑	↑
小売業	- 小売業が不安定	↑	↑	↑	↑	↑	↑
	- 売掛金の回収が遅い	↑	↑	↑	↑	↑	↑
	- 受注減	↑	↑	↑	↑	↑	↑
	+ 商品の流行	↑	↑	↓	↑	↑	↑
サービス業	- 顧客の減少	↑	↑	↓	↑	↑	↑
	- 仕入価格の上昇	↑	↑	↓	↑	↑	↑
	- 取引先の廃業	↑	↑	↓	↑	↑	↑
	+ 景気に左右されず売上安定	↑	↑	↑	↑	↓	↑
サービス業	+ 営業の成果が出てきている	↑	↑	↑	↑	↓	↑
	- 受注の減少	↑	↑	↑	↑	↓	↑
	- 営業力の低下	↑	↑	↑	↑	↓	↑

※青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を表している。

■調査結果概要(調査項目)

業界の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-36.2	9.8	-35.6	0.6
製造業	-40.7	1.6	-29.6	11.1
建設業	-26.7	8.0	-26.2	0.5
卸売業	-55.9	1.2	-63.6	-7.7
小売業	-57.9	4.0	-50.0	7.9
サービス業	-15.9	30.6	-25.0	-9.1
自社の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-29.0	7.5	-26.8	2.2
製造業	-40.4	-9.6	-23.4	17.0
建設業	-13.3	15.3	-5.6	7.7
卸売業	-41.2	10.2	-50.0	-8.8
小売業	-42.1	5.5	-35.3	6.8
サービス業	-16.3	18.6	-29.4	-13.1
売上高	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-22.6	7.5	-26.4	-3.8
製造業	-24.1	4.7	-19.2	4.9
建設業	-15.6	4.0	-15.6	0.0
卸売業	-33.3	18.1	-52.9	-19.6
小売業	-31.6	-12.6	-22.2	9.4
サービス業	-15.9	15.1	-27.3	-11.4
仕入価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-23.8	2.2	-27.0	-3.2
製造業	-29.6	-6.5	-26.9	2.7
建設業	-30.2	-7.8	-33.3	-3.1
卸売業	-14.7	11.0	-29.4	-14.7
小売業	-21.1	7.5	-16.7	4.4
サービス業	-18.6	14.7	-23.3	-4.7
販売価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-1.5	3.1	1.0	2.5
製造業	-3.7	2.1	-1.9	1.8
建設業	-4.5	1.8	0.0	4.5
卸売業	2.9	14.3	8.8	5.9
小売業	5.3	10.1	5.3	0.0
サービス業	-2.3	-7.2	-2.3	0.0
採算(収支)	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-26.2	5.5	-26.8	-0.6
製造業	-35.2	-3.8	-26.4	8.8
建設業	-11.4	13.1	-18.2	-6.8
卸売業	-41.2	13.1	-41.2	0.0
小売業	-21.1	7.5	-21.1	0.0
サービス業	-20.5	2.8	-27.3	-6.8

※青の塗潰しは改善を、赤の塗潰しは悪化を表している。

【業界の景況】

業界全体の現在 DI 値は▲36.2 を示し、前回調査（H29.3 期）から 9.8 ポイント改善し、2 期ぶりの改善となった。3 ヶ月後の動向を表す先行 DI 値は▲35.6 で、わずかな改善を見込んでいる。業種別では、製造業が▲40.7、建設業が▲26.7、卸売業が▲55.9、小売業が▲57.9、サービス業が▲15.9 となっている。前回調査と比較すると、全業種において改善が見られた。



業界の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
全体	-36.2	9.8	-35.6	0.6
製造業	-40.7	1.6	-29.6	11.1
建設業	-26.7	8.0	-26.2	0.5
卸売業	-55.9	1.2	-63.6	-7.7
小売業	-57.9	4.0	-50.0	7.9
サービス業	-15.9	30.6	-25.0	-9.1

【自社の景況】

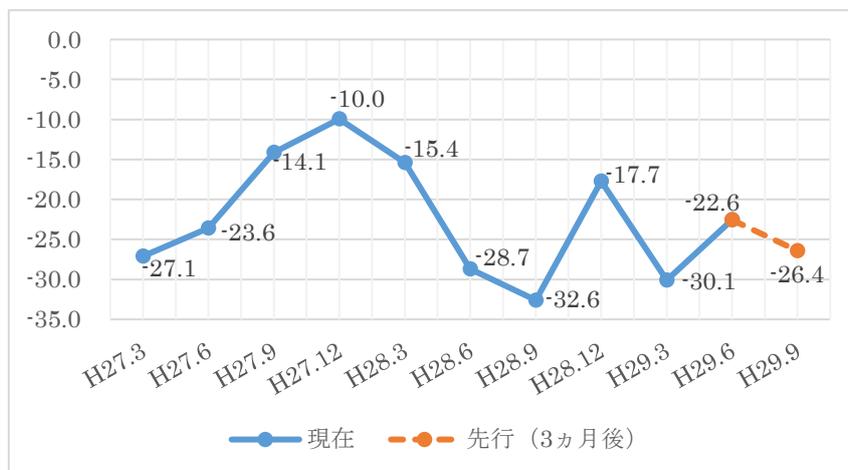
自社の景況は、現在 DI 値▲29.0 となり、前回調査より 7.5 ポイント改善した。3 ヶ月後の先行 DI 値は▲26.8 で、現在より 2.2 ポイントの改善を見込んでいる。業種別では、製造業が▲40.4、建設業が▲13.3、卸売業が▲41.2、小売業が▲42.1、サービス業が▲16.3 を示した。先行 DI 値からは卸売業・サービス業以外の業種において改善が見込まれていることが分かる。



自社の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
全体	-29.0	7.5	-26.8	2.2
製造業	-40.4	-9.6	-23.4	17.0
建設業	-13.3	15.3	-5.6	7.7
卸売業	-41.2	10.2	-50.0	-8.8
小売業	-42.1	5.5	-35.3	6.8
サービス業	-16.3	18.6	-29.4	-13.1

【売上高(受注高)】

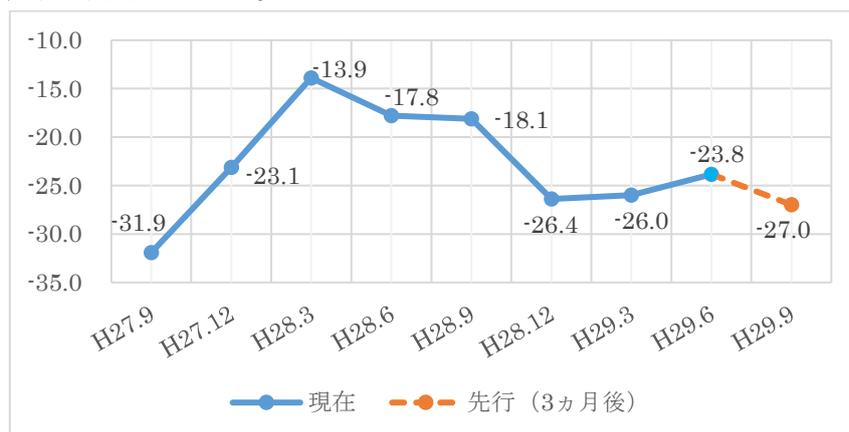
売上高(受注高)状況を表す現在DI値は▲22.6となり、前回調査から7.5ポイントの改善となった。3ヶ月後の先行DI値は、▲26.4と現在より3.8ポイントの悪化を予測している。業界別には、製造業が▲24.1、建設業が▲15.6、卸売業が▲33.3、小売業が▲31.6、サービス業が▲15.9となった。前回調査と比較して、小売業のみが悪化となった。今後3ヶ月後の見通しは、製造業・小売業が改善する見込みである。



売上高	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-22.6	7.5	-26.4	-3.8
製造業	-24.1	4.7	-19.2	4.9
建設業	-15.6	4.0	-15.6	0.0
卸売業	-33.3	18.1	-52.9	-19.6
小売業	-31.6	-12.6	-22.2	9.4
サービス業	-15.9	15.1	-27.3	-11.4

【仕入価格】

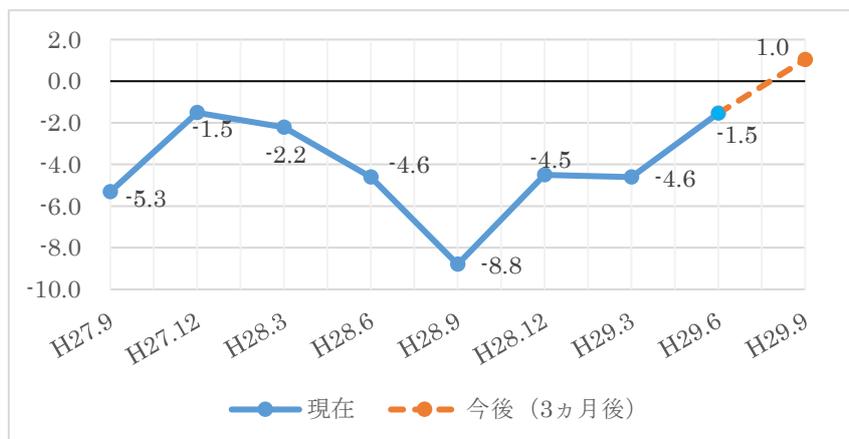
仕入価格の現在DI値は▲23.8で、前回調査から2.2ポイント増となり、若干ではあるが2期連続の改善となった。3ヶ月後の先行DI値は▲27.0と、現在と比べ3.2ポイント減を予測している。業種別では、製造業が▲29.6、建設業が▲30.2、卸売業が▲14.7、小売業が▲21.1、サービス業が▲18.6となった。3ヶ月後は製造業・小売業以外の業種は悪化する見通しである。



仕入価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-23.8	2.2	-27.0	-3.2
製造業	-29.6	-6.5	-26.9	2.7
建設業	-30.2	-7.8	-33.3	-3.1
卸売業	-14.7	11.0	-29.4	-14.7
小売業	-21.1	7.5	-16.7	4.4
サービス業	-18.6	14.7	-23.3	-4.7

【販売価格】

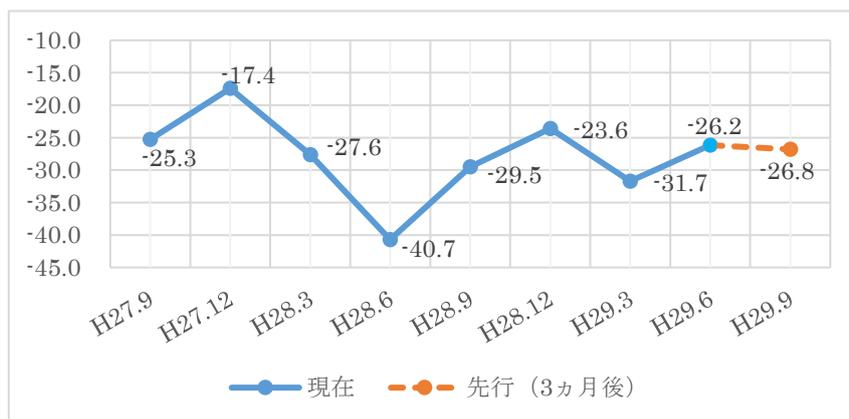
販売価格の現在 DI 値は▲1.5 となり、前回調査から 3.1 ポイント改善している。3 ヶ月後の先行 DI 値は 1.0 で、2.5 ポイントの改善が予測される。業種別では、製造業が▲3.7、建設業が▲4.5、卸売業が 2.9、小売業が 5.3、サービス業が▲2.3 となった。業種別の先行 DI 値については、小売・サービス業を除いて改善を見込んでいる。



販売価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-1.5	3.1	1.0	2.5
製造業	-3.7	2.1	-1.9	1.8
建設業	-4.5	1.8	0.0	4.5
卸売業	2.9	14.3	8.8	5.9
小売業	5.3	10.1	5.3	0.0
サービス業	-2.3	-7.2	-2.3	0.0

【採算(収支)】

採算(収支)状況を表す現在 DI 値は▲26.2 と、前回調査から 5.5 ポイント増、2 期ぶりの改善となった。3 ヶ月後の先行 DI 値は▲26.8 で、現在と比べ 0.6 ポイントの悪化を見込んでいる。業種別では、製造業が▲35.2、建設業が▲11.4、卸売業が▲41.2、小売業が▲21.1、サービス業が▲20.5 となった。3 ヶ月後の見通しは、製造業のみ改善する見込みである。

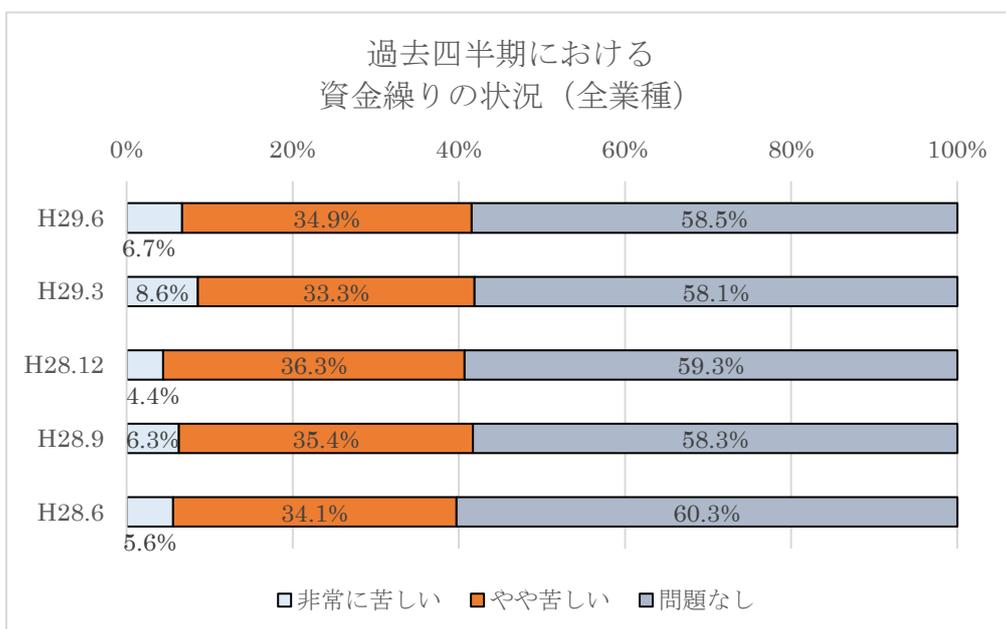
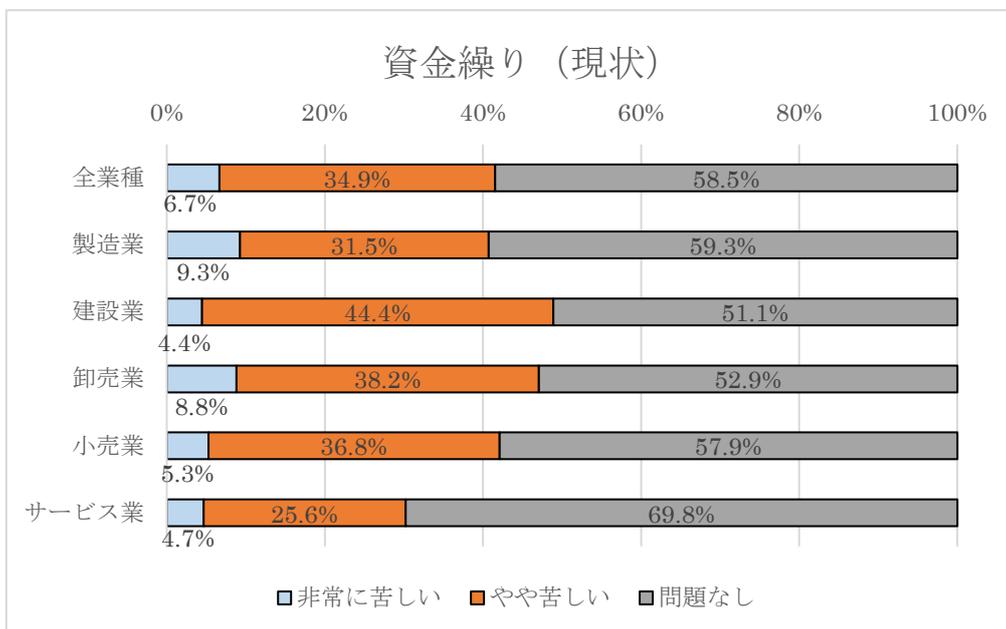


採算(収支)	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-26.2	5.5	-26.8	-0.6
製造業	-35.2	-3.8	-26.4	8.8
建設業	-11.4	13.1	-18.2	-6.8
卸売業	-41.2	13.1	-41.2	0.0
小売業	-21.1	7.5	-21.1	0.0
サービス業	-20.5	2.8	-27.3	-6.8

【資金繰り】

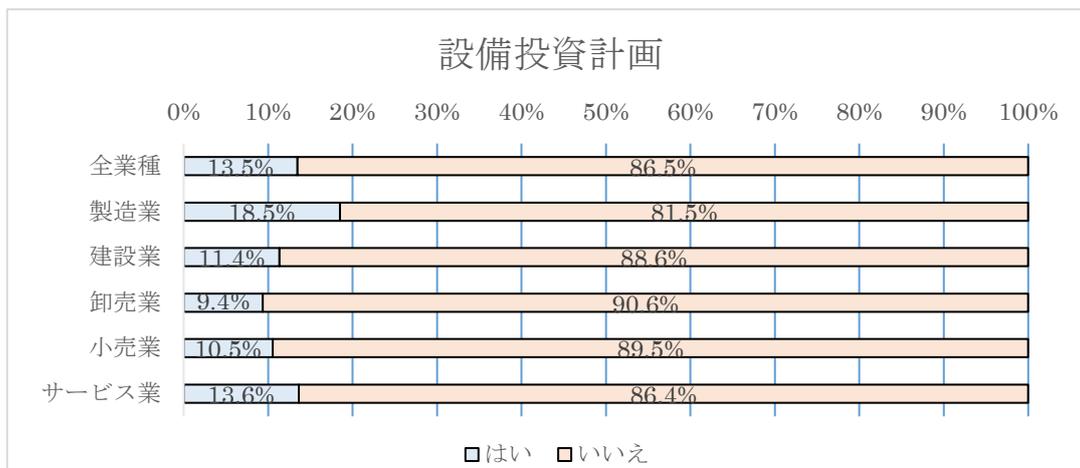
資金繰りの状況は、全業種の58.5%が「問題なし」と回答しており、業種別では、建設業と卸売業は資金繰りが比較的厳しい。

過去四半期の資金繰り状況と比較すると、H29.6期は改善傾向にあるが、H28.6期と比べると資金繰りは若干厳しい。



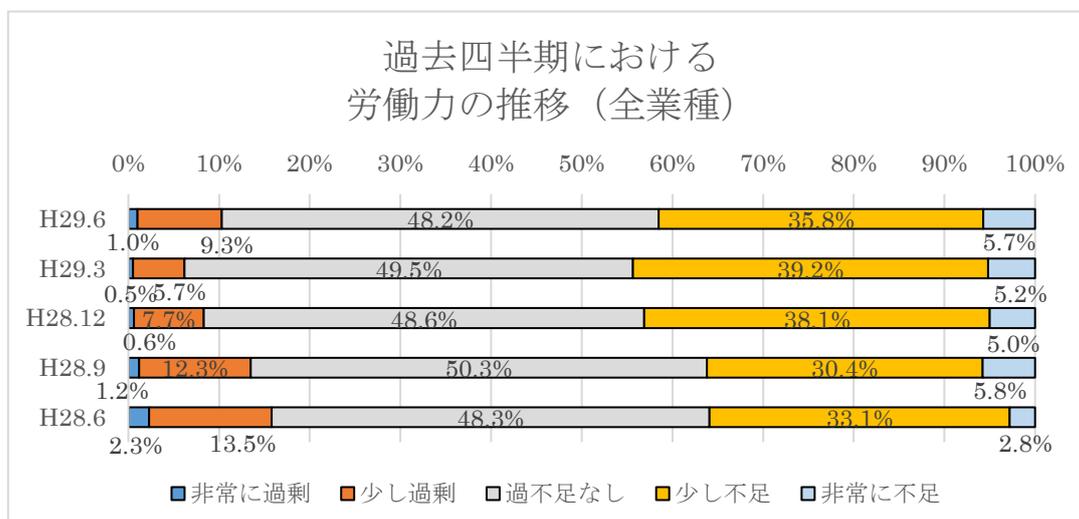
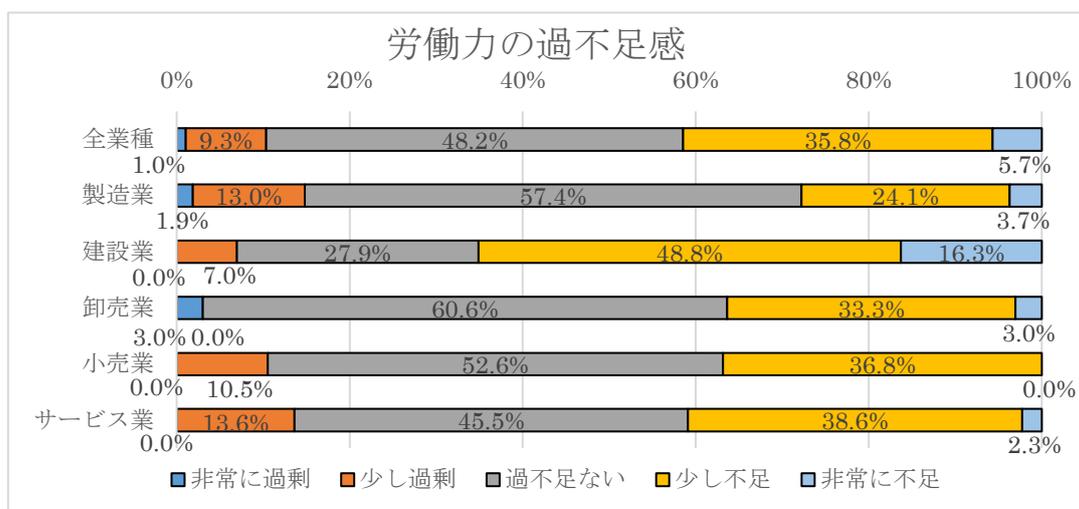
【設備投資】

今後3ヶ月以内に設備投資の予定があるかどうか伺ったところ、全業種では13.5%が「はい」と回答している。業種別では「はい」と回答した事業所は、製造業が18.5%、サービス業が13.6%となっており、他業種と比べると高い結果となった。



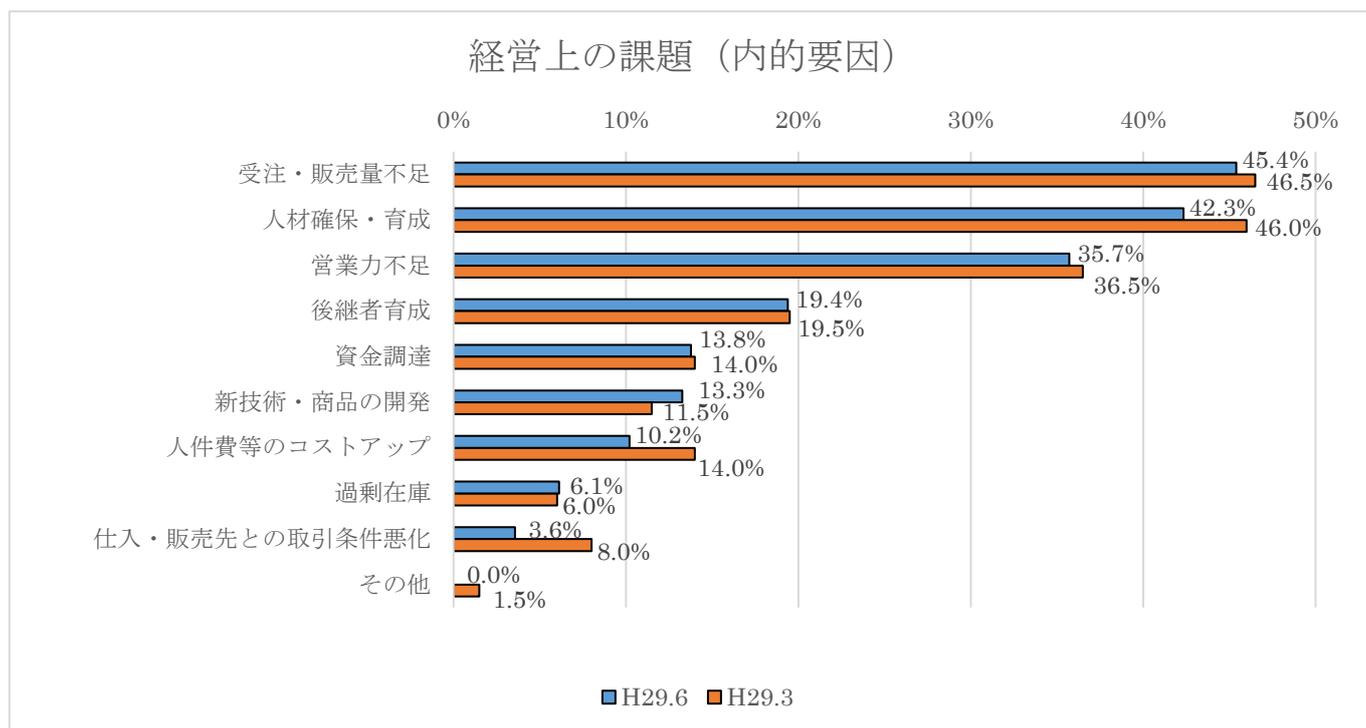
【労働力】

労働力の過不足感については、全業種では約半数の48.2%の事業所が「過不足ない」と答えた。業種別では、建設業が「不足している（「少し不足」＋「非常に不足」）」と回答する割合が高く、建設業の労働力の不足感が特に目立つ。



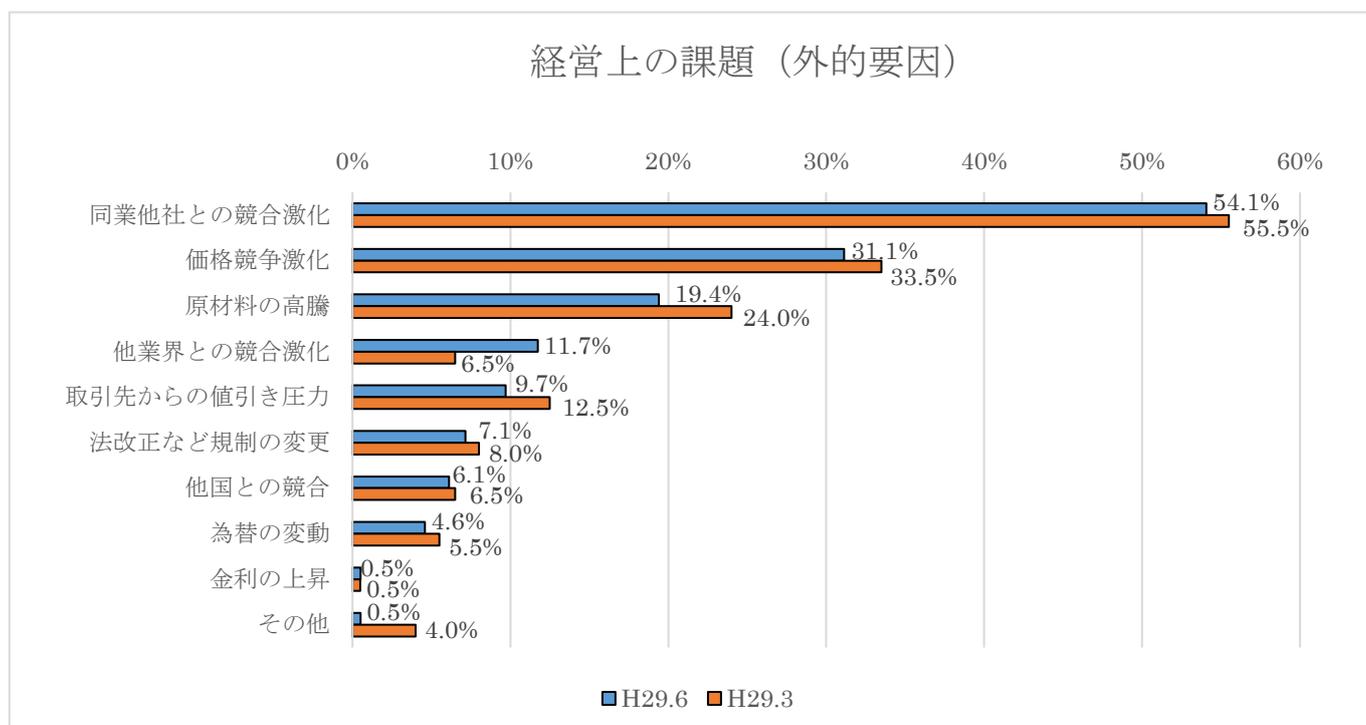
【経営課題(内的)】

経営上の課題（内的要因）については、「受注・販売量不足」「人材確保・育成」を課題にしている事業所の割合が依然として高い。「営業力不足」と回答した事業所の割合は前回調査と比べてほぼ変わらず、35.7%であった。



【経営課題(外的)】

経営上の課題（外的要因）として、最も挙げられたのが前回調査時と同じく「同業他社との競争激化」であった。また、比較的多くの事業所が経営上の問題（外的要因）として「価格競争激化」、「原材料の高騰」を挙げている。

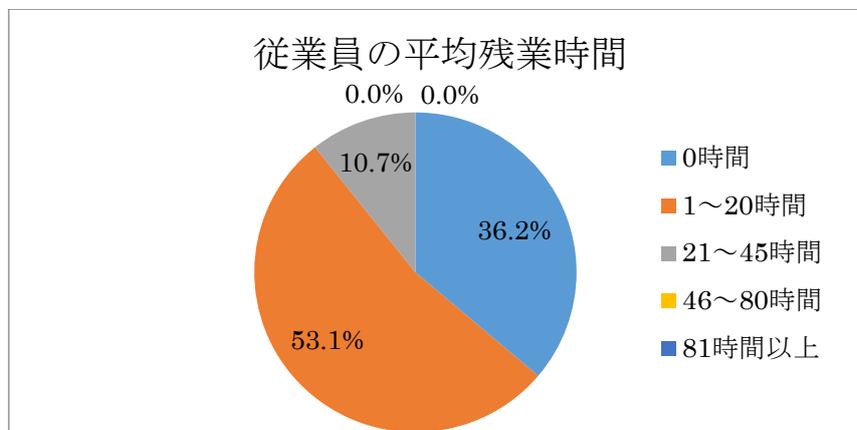


トピックス調査【働き方について】

小規模事業所として従業員の平均残業時間や残業時間の削減に向けた取り組みについて、各事業所に伺った。

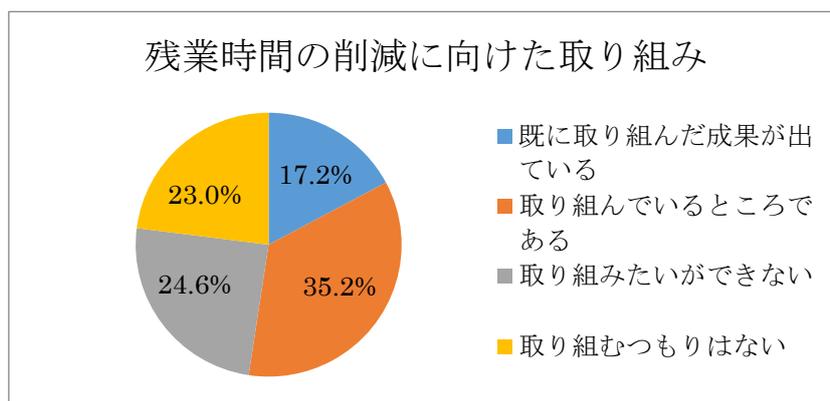
《従業員の平均残業時間》

1 か月間（平成 29 年 5 月）の従業員の平均残業時間について伺ったところ、「0 時間」と回答した事業所が 36.2%、「1～20 時間」が 53.1%、「21～45 時間」が 10.7%であった。46 時間以上の事業所は無かった。



《残業時間の削減に向けた取り組み》

残業時間の削減に向けた取り組みについて伺ったところ、「既に取り組んだ成果が出ている」と回答した事業所が 17.2%で、「取り組んでいるところである」が 35.2%、「取り組みたいができない」が 24.6%という結果になった。「取り組むつもりはない」と回答した事業所は全体の約 2 割であった。



《残業時間の削減に向けての問題点》

残業時間の削減に向けての問題点について伺ったところ、「人手不足」が 38.7%と最も多く、「取引先の影響」が 30.2%となった。「過剰な仕事量」「業績の落ち込み」「会社の風土」と回答した事業所も一定数あった。

